

■助成事業

| 事業名 実施者 | 事業内容 | 総事業費 [補助額] (円) | 採用 回数 | 中区 らしさ A(高い) B(普通) C(低い) | 事業目的 の達成度 A(高い) B(普通) C(低い) | 財政支援 の必要性 A(高い) B(普通) C(低い) | 費用対 効果 A(高い) B(普通) C(低い) | 評価 |
|--|---|------------------------|----------|--------------------------------------|---|---|--------------------------------------|--|
| 1 花いっぱい・交通安全推進事業 和合町自治会 | 【期間】 H29. 4. 1～H30. 1. 20 【場所】 和合町地内 【内容】 花いっぱい事業…町内60ヶ所に花のプランターを配置。交通安全推進事業…交通安全標語の募集、のぼりの作成、カーブミラー清掃、交通安全教室の開催、交通安全グッズの作成・全戸配布 | 1,653,420 [826,000] | 1 | A | A | B | B | ○和合町地内60ヶ所にプランターを設置し、花の苗の植え替えや水やりなどの世話を周辺住民が行っており、コミュニティの輪が広がるとともに、地元への関心が深まったと認められる。 ○交通安全標語の募集やのぼり旗の作成などを通じ、住民に安全意識が高まるとともに、お互いを見守り合う機運が広がった。 ○地震などの大規模災害時にお互いに協力して助け合う共助の精神の高揚を図り、また、日常生活においても弱者等を見守り、支援などの地域力を養成した。 |
| 2 富塚地区 市民の森と触れ合う会 特定非営利活動法人 地域創生支援事業団 | 【期間】 H29. 4. 9、H29. 10. 29 【場所】 富塚町 【内容】 H29. 4. 9…「春の味覚を楽しむ会（団体代表による春についての談話、春のあんみつとどら焼き作り）」参加者25人、H29. 10. 29…「森と触れ合う会 凧作りと食事会」参加者16人 | 467,023 [181,000] | 2 | A | B | A | B | ○「春」についての談話では、春の訪れや、桜の名所で有名な城を紹介。春のあんみつやどら焼き作りでは、受講者同士でコミュニケーションが図られ、地域交流に貢献した。 ○浜松まつりの凧を作ることで、地元の行事に関心を持ってもらうことができた。 ○身近な場所での地域交流が実施されており、地域の子どもたちが心豊かに育つための活動を今後も提供していただくとともに、より多くの参加が得られるよう広報、周知を期待する。 |
| 3 元城小学校閉校記念事業 元城小学校閉校記念事業検討会 | 【期間】 H29. 4. 1～H30. 3. 30 【場所】 (旧)元城小学校 【内容】 閉校記念式典及び地域主催で行う閉校イベントの写真集作成と、小学校の歴史遺産の保存による世代を超えた交流と記録と記憶の事業。 | 1,917,413 [760,000] | 2 | A | A | B | B | ○地域の中心であった元城小学校を記憶と記録に残し、世代を超えた交流の場を提供したイベントであった。記念誌、閉校イベントそれぞれに思いが込められ、目的が達成されている。 ○地域では、さまざまな場所でポスターが貼れており、地域全体の一体感が図られ、記念事業を通じて地域の結束が図られた。 |
| 4 浜松 ホタルも棲める良い自然プロジェクト ㈱フジヤマ ホタル自然プロジェクト | 【期間】 H29. 6. 23、H29. 11. 10 【場所】 浜松中部学園、浜松城公園 【内容】 H29. 6. 23…信州大学藤山名誉教授による講話、浜松城公園でのホタル観察会。参加者：浜松中部学園児童及び父兄170人。H29. 11. 10…藤山名誉教授による講話、浜松城公園でのホタル幼虫放流会。参加者：浜松中部学園5年生87人 | 240,852 [96,000] | 2 | A | B | A | A | ○地元の自然環境の構築に携わることで、自然への興味や地域への関心が高まり、ホタルを通じて皆に自慢できる地元をつくり出すイベントであった。 ○専門家の指導のもと、地元小学生、先生、PTA役員等の多くの地元の方が参加され関心の高さが伺え、今後の環境づくりの継続性が感じられる。 ○今の子どもたちが親になったとき、今回の放流を伝えられるよう、ホタルが育成する環境を継続して整えていく活動や現在地以外での開催など活動の広がりにも期待する。 |
| 5 第6回浜松ジオラマグランプリ 特定非営利活動法人 はままつ未来会議 | 【期間】 H29. 8. 25～8. 27 【場所】 ザザシティ浜松西館2階 【内容】 ジオラマ（情景アート）のコンペティションを実施。一次審査通過作品を会期中一般公開し、会期最終日に審査・入賞者の表彰。来場者：3,000人 | 1,052,074 [522,000] | 1 | A | A | A | A | ○ザザシティ浜松西館にて、およそ3,000人の来場者があり、中心市街地のにぎわいが創出された。 ○浜松の風景をテーマにした作品も見られ、芸術を活かした観光化とものづくり技術伝承による浜松中心市街地活性化の目的が達成されたと認められる。 ○日本各地および台湾から作品の応募があったことから、浜松を代表するイベントとなることを期待する。 |
| 6 はままつハロウィンフェスティバル ハロフェス実行委員会 | 中心市街地の活性化を目的としたハロウィンのイベント 【期間】 H29. 10. 28～10. 29 【場所】 サザンクロス商店街/ソラモ 【内容】 ステージパフォーマンス、ドレスアップ、メイクアップほか（サザンクロス商店街）、仮装コスプレコンテスト、ステージパフォーマンスほか（ソラモ） 【来場】 8,650人 | 3,829,579 [886,000] | 3 | B | A | A | B | ○浜松の若い力でハロウィンをテーマに浜松の魅力を発信するとともに、中心市街地の活性化に寄与するイベントとして企画された。 ○台風接近のため一部イベントを中止したが、8,650人の来場があったことから目的は達成できたと認められる。 ○協力・協賛企業も昨年を上回る174社となるなど、全国規模のイベントを作りたいという強い気持ちが認められ、学生だけではなく、商店街や企業が一体となって盛り上げた点も評価できる。 ○全国的な盛り上がりを見せるハロウィンが、中区でも定着し、ますます盛り上がりていくことを期待する。 |
| 7 Hamamatsu Dining Japan Food Culture プロジェクト | 【期間】 H29. 10. 15 【場所】 万年橋パークビル8階 【内容】 主に中区のレストランシェフによるはままつ食材を使ったメニューをワンコイン(500円)で提供。参加者：300人 | 824,737 [95,000] | 3 | A | A | A | B | ○地産地消という言葉は知っているものの、浜松地域での食材について知る機会は少ないため、このイベントでは、野菜生産者等に協力を募り、生産者（農家）・調理人（プロのシェフ）・消費者（大学生等）が運営面を支えて活躍する場所を提供するとともに、市民へ浜松地域の食材を再認識する機会を提供している。 ○提案者は、今回のイベントを通じて、開催時期の問題や目指すべき方向性など新たな課題を持たれており、食を通じた更なる情報発信と人とのつながりが期待される。 ○毎年好評を得ていることから、継続による広がりも期待したい。 |
| 8 ASIA MUSIC FESTIVAL 株式会社 はまぞう | 【期間】 H29. 5. 7 【場所】 ソラモ 【内容】 インドネシア、タイ、ベトナム、ブラジル、日本のアーティストによるライブコンサート、アジアフードや雑貨の販売。出演アーティスト：12組、来場者数10,000人 | 4,803,648 [886,000] | 2 | B | A | B | A | ○ソラモでライブコンサート等が行われ、およそ10,000人の来場者があり、中心市街地のにぎわいが創出された。 ○多くの在住外国人の来場があり、各国のグルメが提供されており、ソラモが国際色豊かな空間に演出されていた。 ○外国人アーティストによる演出の需要が、在住外国人にあることを再認識できるイベントであった。 ○Webによる告知のみで県外からも多くの集客があったことから、浜松を代表するイベントとなることを期待する。 |